



# \* 西東京会通信 \*

【第2号】

日退協

公益社団法人 日本産業退職者協会

平成28年3月25日発行

## 「第2号発行によせて」

代表幹事 湯藤 哲



皆様こんにちは！！  
 平素は「日退協」および「西東会」の活動にご協力を頂きありがとうございます。  
 昨年9月に同通信の創刊号を発行しました。第2号は年を越し春の息吹も聞こえてくる季節になりました。

今年は「申」歳、新しいご縁（猿）につながる語呂合わせもごさいます。「西東京会」は日退協の会員の中で三多摩地区に居住されておられる方々を主にメンバー構成をさせていただいております。

現在、「神奈川会」、「埼玉会」、「京葉会」が他にあり、夫々の活動を行っています。

「西東京会」も約600名（関東地区）の個人会員を擁する「日退協」のより活発化の為、今年も数々の企画をたてて参ります。是非多くの方々のご参加を頂き新しい出会いを楽しんで頂けたらと願っております。

尚、今後この「通信」の紙面は皆様の寄稿をたくさん戴き作成してまいりたいと考えておりますので、何卒ご協力下さい。

## 今年の（1月～12月）のイベント予定

1. 3月(3/8・火) キューピーマヨネーズ工場見学会 (仙川) と武者小路実篤記念館散策
2. 4月(4/26・火) 「塩船観音寺つつじ祭り」
3. 6月(6/21・火) 「高幡不動尊あじさい祭り」
4. 7月末～8月始め 「寄席・落語鑑賞会」
5. 10月予定 秋のゴルフ会
6. 11月予定 「紅葉を愛でる会」

※偶数月の20日頃に「協会」より送付されます「マチュリティーニュース」に各イベントのご案内が入っております。内容をご確認の上、友人の方々（非会員の方も是非）とお誘い合せの上、奮ってご参加下さい。（昨年イベントのスナップ写真を裏面に掲載しています。）

## 「エッチング」ってご存知？

小野 利明



毎日が日曜日になり始めた十数年前、地元府中市立美術館で催された銅版画講習会に参加しましたが、そのきっかけは、子供の頃から木版画で作っていた年賀状を銅版画で作れないものかと興味を持った為でした。ところが一枚摺るのには木版画以上に手間が掛かる事が分かり摺った一枚を原画にして、縮小印刷した年賀状をその後毎年続けています。

銅版画は木版画に比べ繊細な線が特徴で、いろいろな手法がありますが、「エッチング」では①防蝕液（グラド）を塗った銅版に鉄筆（ニードル）で線描し腐食液に浸ける②一定時間後に取り出すと線描部分が腐食して溝ができて③この溝に固めのインクを詰め、線描以外の部分を拭き取る④この銅版の上に予め湿りを加えた厚めの版画



用紙を置き、プレス機にかけると詰めたインクが用紙に写し取られ「銅版画」となる。この③の作業—インク詰と拭きの作業が5～10分場合によってはそれ以上かかります。これが年賀状作成

には不適な理由で上記のような仕儀となりました。昨今の視力と根気の衰えに伴い、1ミリの間に何本もの線を描く様な私の作風では作品もだんだん減ってきました。銅版画作成にはプレス機が不可欠でその設置がある府中市生涯学習センターで、仲間と共に活動しており、5月末には府中市立美術館の市民ギャラリーでグループ展を開催する予定です。興味のある方は是非お声掛け下さい。

## 「春駒の舞」

横堀 尚昭



今年のマチュリティー新年号表紙「春駒の春」は新年に行われた門付（かどづけ）芸人の写真です。府中にある郷土の森公園の梅祭に行われた江戸伝統芸の紹介イベントで撮影したものです。毎年2月の梅祭では江戸伝統芸保存会の皆さんの実演イベントがありますので興味のある方は是非ご覧になって下さい。

なお、2012年の新年マチュリティー（第94号）の表紙「南京玉すだれ」は前年の2月の梅祭で撮影したものです。「春駒の舞」は現代では実際に行われているのを見ることは全くなりましたが昔は江戸の新年を飾る華やかなイベントであったようです。新年に来る三河漫才などと同じ門付芸で鈴のついた駒の首形を手に持ち、三味線、

太鼓などと囃しつつ祝言の歌を歌い舞う芸であり、大変目出たい芸として親しまれていたようです。

今でも佐渡や一部の地方では残っているようですが東京では全く見られなくなってしまい残念です。



H27.3.14.「観梅会・府中郷土の森公園」



H27.4.2.「観桜会・井の頭公園」



H27.9.27.「寄席・落語鑑賞会・池袋演芸場」



H27.10.10.「鉄道技研見学会」



H27.10.27.「秋の親睦ゴルフ会・GMG 八王子」



西東京会主催  
年間通して、楽しいイベント  
が盛り沢山です！



H27.11.20.「紅葉を愛でる会・高尾山」



H28.3.8.「マヨテラス・武者小路記念館見学」



※ 協会本部からのお知らせ  
本年度の会員相互の親睦を計る「はつらつふれあいの集い」は7月11日（月）12時よりホテルラングウッド（日暮里）と決定しました。  
（詳細は4月以降のマチュリティーニュースをご覧ください）

**新入会員のご紹介(H27.9月以降)**

9月 石澤 英人（武蔵野市） 山口 雄一（府中市）  
11月 谷合 幸枝（小金井市）

※ 3月1日にレストラン喫茶「上床」にて新入会員の内の8名の参加を頂いて新入会員懇親会を開催しました。

- 本年度（27年4月～28年2月）の「西東京会」に新しく登録させて頂いた方は12名で会員数95名です。
- 1月末の「日退協」の会員数は1103名（関東634名・広島支部469名）

**西東京会世話人一同**

- 代表幹事 湯藤 哲
- 副代表幹事 西納 政光
- 幹事 安藤 隆夫 井口 紀夫 猪股 辰雄
- 小野 利明 塩山 哲郎 遠間 ひで子
- 西村 修 橋本 隆夫 比留間 文子
- 福島 龍郎 藤井 俊明 横堀 尚昭

**※毎月の定例世話人会とサロンへのお誘い**

毎月第一火曜日の午後4時から世話人会を開催しております。現在、常連として13名程の方が集まり会の運営、イベント企画等の打合せを行っています。また打合せ終了後に会食、カラオケ等々和気藹々の懇親の場(西東京会サロン)を開催しております。楽しい会合ですので、是非お気軽にご参加下さい。

※場所:JR三鷹駅北口・「レストラン喫茶 上床(うわとこ)」

◆ 駅より徒歩3分 TEL 0422-51-6000

**【お願い】**

日退協「西東京会だより」を発刊するにあたり、今後四半期毎の発行を考えていますが、西東京会の財政事情から、今後e-mailによるお届けを主流にしたいと考えておりますので、e-mailアドレスをお持ちの方は、是非ともご登録下さるようお願いいたします。

右記事務局e-mailアドレスにご一報方お願いいたします

**「西東京会・会報」編集責任者及び問い合わせ先**

公益社団法人 日本産業退職者協会「西東京会」  
代表幹事 湯藤(ゆうとう) 哲  
携帯:090-5576-2914  
TEL&FAX:0422-46-9567  
e-mail: [satoru.granpa@ybb.ne.jp](mailto:satoru.granpa@ybb.ne.jp)